

九十九王子と熊野古道



熊野九十九王子は、京都から熊野三山に至るまでの途次、難行苦行の信仰の道をつなぐために設けられた神社です。熊野権現の御子神を祀る分社であり、水垢離、潮垢離等の禊ぎにより身を清め、心新たに熊野の地を還拜し、また和歌会や里神楽等の法楽を行い旅の安全を祈願する場でした。

九十九王子は実数でなく数の多いこと、百は熊野三山を指すとも考えられます。王子の中でも海南市の藤代王子、印南町の切部（切目）王子、上富田町の稲葉根王子、田辺市中辺路町の滝尻王子、田辺市本宮町の発心門王子は、五鉢王子として特に格式が高いといわれています。

上皇・法皇の御幸とともに栄え、衰退していましたが、足利将軍家、紀州徳川家により復元や遺跡保存が行われました。

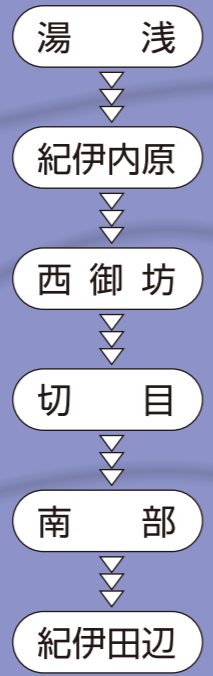
旅のお問い合わせは

- 湯浅町ふるさと振興課 TEL.0737-64-1112
- (一社)湯浅町観光協会 TEL.0737-22-3133
- 広川町地域振興課・観光協会 TEL.0737-23-7764
- 日高町企画まちづくり課・観光協会 TEL.0738-63-3806
- 御坊市商工振興課・観光協会 TEL.0738-23-5531
- 印南町企画産業課・観光協会 TEL.0738-42-1737
- みなべ町うめ課 TEL.0739-33-9310
- みなべ観光協会 TEL.0739-74-8787
- 田辺市観光振興課・田辺観光協会 TEL.0739-26-9929
- (一社)田辺市熊野ツーリズムビューロー TEL.0739-26-9025
- (公社)和歌山県観光連盟 TEL.073-422-4631
- 和歌山県観光振興課 TEL.073-441-2424

紀州路を歩く・紀州路を楽しむ

和歌山県街道マップ 熊野古道

紀伊路 湯浅～紀伊田辺



湯

浅の宿場町を出発し、河瀬王子を過ぎると、藤原定家より100年前に熊野詣でをした藤原宗忠が「その道はなはだ険阻身力すでに尽く」と嘆いた「鹿ヶ瀬峠」が待ち構えています。そのために近世になると、湯浅から由良の興国寺を経て御坊へと回る行者もありました。鹿ヶ瀬峠には「法華験記」や「今昔物語」の伝承の舞台「法華壇」(広川町の養源寺飛地)があり、峠の茶屋の子孫の人々の手により、千年の時空を超えて毎年4月16日に「円善まつり」の供養会が行われていることに深い感銘を覚えます。原谷に下り定家等が榊の枝に手造りの槌をくりつけて奉納したという「内ノ畑王子」を経て、御坊市内の小松原の宿(現・湯川神社の南側周辺)に泊するの湯浅からの当時の日程でした。また、有田の田村海岸から海路で日高町の比井王子を経て日御崎を回り、松原王子から塩屋王子に至るコースも古くから開けていました。

清姫伝説の日高川を渡り、塩屋王子付近からは、一路海岸線を切目王子をめざして南下します。切目から一旦山中に入り、光り輝く大海のはるか彼方に牟婁の温湯(白浜温泉)を望むところが岩代、古道は梅のみなべから口熊野田辺へ続きます。

ルートその1【P4へ】 湯浅駅～紀伊内原駅

歌人「藤原定家」をして「崔嵬の険阻(さいかいのけんそ)」と嘆かせた「鹿ヶ瀬峠」が旅人の行く手を阻みます。広川町井関から大峠・小峠を越えて、日高町原谷へ至る鹿ヶ瀬峠越は今もなお道険しく健脚向きといえるかもしれません。また小峠を越えると熊野古道に現存する最長の石畳道も残されており、静寂の中にいしへのロマンを感じさせてくれます。石畳道を下れば、そこは日高町原谷の里。ここは民芸品として珍重される黒竹の産地。ハイキング・山登りに最適な黒竹の杖など、搜してみたいいかがでしょうか。



鹿ヶ瀬峠・大峠の椎の大木



古道最長の石畳道

ルートその2【P6へ】 紀伊内原駅～西御坊駅

鹿ヶ瀬峠を越えた旅人は、広大な日高平野の山裾を日高川越えへと向かいました。このコースの沿道には安珍・清姫の物語で知られる「道成寺」をはじめ、髪長姫伝説の海士王子、美人王子として知られる塩屋王子等男女の恋物語や美人にまつわる史蹟が数多くあります。コースとしては日高川の河口に開けた平坦な区間ですが、牧歌的な風景の中にもどこかロマンチックな香りが漂う御坊の町を、ゆくりと散策してみてください。



安珍・清姫の物語で有名な道成寺

ルートその3【P8へ】 西御坊駅～切目駅

暴れ川として知られた「日高川」を越えると、紀伊水道の海明かりの道を南に向かって進みます。このコース全体を通して、紀州の明るい海を満喫していただけることでしょう。コースの前半には、悲嘆と怒りに狂った清姫が安珍を追ったという伝説にまつわる史蹟が、後半の印南町内には、熊野九十九王子の中でも別格とされる「五鉢王子」の一つ、切目王子等があり、歴史や文化にも存分に触れていただくことが出来ます。



五鉢王子のひとつ切目王子

ルートその4【P12へ】 切目駅～南部駅

熊野古道の各コースの中で、真っ青な紀州の海を最も身近に感じていただけるこのコース。中山王子からの榎木峠を越えると、海が広がります。途中の岩代王子から千里王子までは、その昔紀伊路で唯一の浜づたいの道を歩いたところ。「伊勢物語」や「枕草子」でもその美しさを讃えられた千里の浜は、今も往時の面影を残しており、きれいな砂浜を求めてアカウミガメも産卵にやってくるほどです。このコースの終点は、日本一の梅林や南高梅の梅干の産地として知られるみなべの町。散策のお土産に最高です。



千里の浜から千里観音へ向かう参道には三十三観音が並びアカウミガメの産卵地として知られる千里の浜

ルートその5【P14へ】 南部駅～紀伊田辺駅

日本一の梅の里、みなべの町から海沿いに南下し、古道の分岐点である田辺の町をめざします。田辺市内に入り、出立王子へ。ここは、それまで導いてくれた海に敬意を表し、海水に身を浸して身を清めた潮垢離の儀式が行われたところであり、古道はいよいよここから山また山の中辺路に進むこととなります。又会津川を渡った田辺のまちなかには、中辺路と海まわりの大辺路の分岐点にあたる、道分け石も残ります。



鹿島神社



江川児童公園内にある潮垢離浜記念碑

和歌山県街道マップのご利用にあたって

- この街道マップは、「高野参詣道」「熊野古道」に代表される和歌山県の街道を多くの方に歩いて触れていただくことを目的に製作したものであり、学術的な調査や研究に基づいて、古道ルートを規定・限定する意味で作られたものではありません。予めご承知のうえご利用ください。
- 「高野参詣道」「熊野古道」等の和歌山県の街道に関する情報・解説などは、和歌山県観光ホームページ(https://www.wakayama-kanko.or.jp/)の「世界遺産 高野山」、「世界遺産 熊野・熊野古道」でご覧いただけます。
- 登山届について 万が一に備え、必要に応じて登山届を提出しましょう。詳細は和歌山県警察 HP をご確認ください。
 - ・問い合わせ先：和歌山県警察本部地域指導課 【TEL】073-423-0110



古道散策の際には、以下のルール・マナーを守って歩きましょう。

- ゴミ(弁当からや空き缶・ペットボトル等)は、必ず持ち帰りましょう。
- 古道沿いの植物を傷つけたり、自然の草花を持ち帰ったりすることはやめましょう。
- 歩行が原則です。やむをえないとき以外は走らないようにしましょう。
- 歩きタバコやポイ捨ては絶対にやめ、喫煙マナーを守りましょう。
- お互いに気持ちよく挨拶を交わしましょう。
- トレッキングポールを使用する場合は先端の石突きにゴムキャップを使用するなど、道を傷つけないようにしましょう。
- 山中人気のない所や、携帯電話の通じないエリアもありますので、事前に計画をたて、無理のない行程で歩きましょう。また、山中は日の入り時間よりも1時間以上早く暗くなるエリアがありますので、十分ご注意ください。

熊野古道マップ

紀伊路(湯浅~紀伊田辺)

登山アプリ「YAMAP」では、和歌山県街道マップの各コースについて、地図データが利用できます。

アプリのダウンロードは右のQRコードから▶



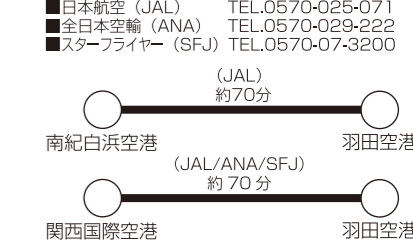
熊野古道 [紀伊路] アクセスガイド



電車



空路



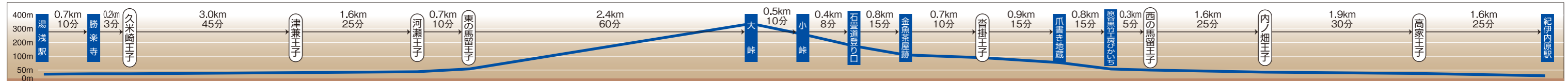
湯浅駅(湯浅町)～紀伊内原駅(日高町)

歩行距離 18.1km
標準歩行時間 5時間15分
標準所要時間 7時間00分

熊野古道の宿場として賑わった湯浅から、紀伊路の中でも難所といわれる日高町内原までのコース。コース途中の鹿ヶ瀬峠を下ると、古道最長の石畳道が残っています。

紀伊路最大の難所鹿ヶ瀬峠は、歌人・藤原定家を「次にまたシノノセの山をよじ昇る、雀鬼の陰阻」と嘆かせたところ。峠手前の井関には、旅籠が軒を並べたとされる旅籠通り、峠過ぎには熊野古道で現存する最長の503mにも及び石畳道や茶屋跡、墓石群が古道の雰囲気や今に残っています。石畳を下りれば黒竹の里として知られる原谷の里。古道沿いにも光沢ある黒竹林が並んでいます。

※歩行速度により所要時間は異なります。目安として参考にして下さい。(標準歩行時間は、健脚の成人男性が歩いた際の時間です。)



スタート地点までのアクセス

「和歌山駅」からJRきのくに線を利用して、「湯浅駅」へ。また、新大阪・天王寺方面からは「湯浅」停車の特急列車が便利です。



お帰りは

「紀伊内原駅」でゴールし、JRきのくに線で「和歌山駅」まで戻ります。



ひとくちメモ

鹿ヶ瀬峠を下ったところ、日高町原谷地区は日本有数の黒竹の産地として知られています。

標準の歩行記録(参考行程: 見学時間等を含む)

湯浅駅	9:00	勝楽寺	9:10	9:15	久米崎王子	9:18	9:25	津兼王子	10:10	10:15	10:40	10:50
東の馬留王子	11:00	大峠	11:05	12:10	12:50	13:00	13:00	金魚茶屋跡	13:23	13:30	13:40	13:45
西の馬留王子	14:20	14:25	14:50	14:55	15:25	15:35	16:00	高家王子	16:00	紀伊内原駅		

(途中で小休憩) (ここで昼食休憩: お弁当)
(ゴールを目前にして小休憩)

沿道の花ごよみ

沿道各所
みかんの花...見頃 5月中旬
原谷地区一帯
黒竹...見頃 通年
原谷地区一帯
ささゆり...見頃 6月下旬～7月上旬
花の見頃は年により異なる場合があります。

街道マップ「紀伊路湯浅駅～紀伊内原駅」

紀伊内原駅～西御坊駅(P6)

き いうちはら にしごぼう
紀伊内原駅(日高町)～紀州鉄道西御坊駅(御坊市)

歩行距離 15.3km
 標準歩行時間 4時間00分
 標準所要時間 6時間10分

日高町内原から 道成寺に立ち寄り、日高川河口の塩屋王子までのコース。途中各王子社や道成寺、美人王子として知られる塩屋王子等の見所をゆっくりとご散策ください。

日高平野の丘陵地から日高川を渡る平坦な区間で、途中古墳群の間をぬけ、安珍・清姫で有名な道成寺に立ち寄り、日高川の流れを眺めながら美人王子と呼ばれている塩屋王子神社へ向かいます。塩屋王子からは再び日高川を渡って紀州鉄道西御坊駅へ。わずか2.7kmのミニ鉄道にも是非ご乗車ください。

※歩行速度により所要時間は異なります。目安として参考にして下さい。(標準歩行時間は、健脚の成人男性が歩いた際の時間です。)



- 凡例**
- 王子
 - トイレ
 - 公衆電話
 - 自販機
 - 休憩所
 - コンビニ
 - 朝日・夕陽100選
 - 道標
 - スタンプ
 - バス停

ひとくちメモ

時間に余裕があれば、道成寺で安珍・清姫の絵説き説法を聞くのも良いでしょう。また参道では、お土産に喜ばれる釣鐘まんじゅうをお買い求めいただけます。

西御坊駅周辺には、全国の料理人にも知られる醤油の名店があります。おみやげに一度門をたたいてみてはいかがでしょうか。

湯浅駅方面からの熊野古道

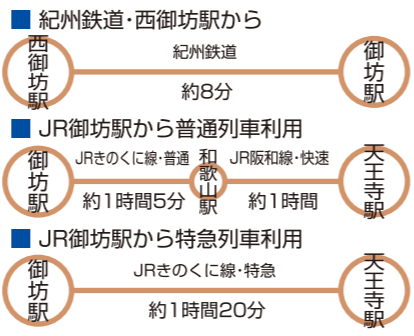
スタート地点までのアクセス

「和歌山駅」からJRきのくに線を利用して、「紀伊内原駅」へ。



お帰りは

塩屋王子から、紀州鉄道「西御坊駅」へ戻ってゴールします。「西御坊駅」からは、ほぼ1時間に1本運転している紀州鉄道で「JR御坊駅」へ。「御坊駅」からはJRきのくに線で「和歌山駅」に戻ります。また、「御坊駅」から天王寺・新大阪方面に直通の特急列車も運転しています。



標準の歩行記録(参考行程:見学時間等を含む)

紀伊内原駅	善童子王子	愛徳山王子	道成寺	海士王子	湯川神社	野口新橋	岩内1号墳	岩内王子	河南中学校	塩屋王子	天田橋	紀州鉄道西御坊駅	紀州鉄道でJR御坊駅へ
10:00	10:45	10:50	11:05	11:10	12:55	13:00	13:25	14:05	14:15	14:23	14:30	14:50	
(道成寺参道の食堂で昼食) (古道から離れて立ち寄り) (少し長めに休憩)													

沿道の花ごよみ

道成寺
 サクラ...見頃 3月下旬～4月上旬

日高川河口
 ハマボウ...見頃 6月下旬～8月上旬

花の見頃は年により異なる場合があります。

西御坊駅～切目駅その1(P8)

街道マップ「紀伊路 紀伊内原駅～西御坊駅」

にしごぼう きりめ 【紀州鉄道西御坊駅(御坊市)～切目駅(印南町)その1】

歩行距離 16.1km
標準歩行時間 4時間25分
標準所要時間 6時間00分

紀州鉄道・西御坊駅から田辺市

坊駅から日高川を渡り、海岸に沿って一気に南下します。までの古道は、明るい紀州の海に沿って進みます。

幾つもの険しい山々を越えてきた熊野古道は、日高川を渡ってからは紀伊水道の雄大な風景を眺めながら進んで行くことになります。塩屋王子からは、海明かりのする道を国道42号に導かれるようにして南下し、清姫関係の史跡や、王子跡をめぐります。交通量の多い国道42号を横断する箇所もありますので車には充分注意して歩いてください。

※歩行速度により所要時間は異なります。目安として参考にして下さい。(標準歩行時間は、健脚の成人男性が歩いた際の時間です。)



- 凡例**
- 王子
 - トイレ
 - 公衆電話
 - 自販機
 - 休憩所
 - コンビニ
 - 見晴らしポイント
 - 朝日・夕陽100選
 - 土産品販売所
 - 道標
 - スタンプ
 - バス停

スタート地点までのアクセス

JRきのくに線で「御坊駅」へ。「御坊駅」までは普通列車利用と、特急列車利用の二通りの方法があります。「御坊駅」で紀州鉄道に乗り換え、終点「西御坊駅」まで。

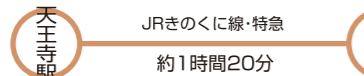
■ 大阪方面から普通列車で御坊駅へ



■ JR御坊駅から



■ 大阪方面から特急列車で御坊駅へ



標準の歩行記録(参考行程：見学時間等を含む)

JR御坊駅から	→→→→→ 紀州鉄道西御坊駅	9:55	→→→→→ 天田橋	10:10	→→→→→ 塩屋王子	10:35	→→→→→ 清姫腰掛石	10:45	(途中光専寺で名木を見学)					
→→→→→ 祓井戸観音寺	11:15	→→→→→ 清姫草履塚	11:50	→→→→→ 仏井戸	12:05	→→→→→ 上野王子	12:10	→→→→→ 清姫腰掛石	12:55	13:00	13:10	13:15	13:21	13:25
(海を見ながら昼食：お弁当)														
→→→→→ 津井王子	14:15	→→→→→ 斑鳩王子	14:25	→→→→→ 切目王子	15:00	→→→→→ 切目駅	15:10	→→→→→ 切目駅	15:25	→→→→→ 切目駅	15:35	→→→→→ 切目駅	15:55	
(長い距離を歩いたので小休止)					(雄大な紀伊水道の眺めを堪能)				(五躰王子をゆっくり見学)					

沿道の花ごよみ

日高川河口
ハマボウ・・・見頃 6月下旬～8月上旬
御坊市名田地区観光農園
スターチス・スイビー
・・・見頃 1月中旬～5月下旬
光専寺
ビャクシン(イブキ)・・・樹齢600年(新日本名木百選)
花の見頃は年により異なる場合があります。

にしごぼう きりめ 【紀州鉄道西御坊駅(御坊市)～切目駅(印南町)その2】

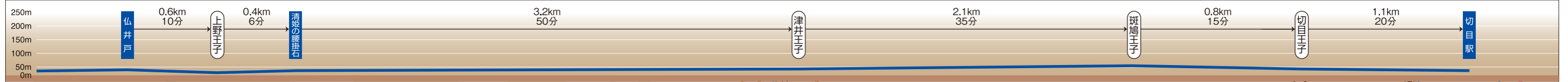
歩行距離 16.1km
標準歩行時間 4時間25分
標準所要時間 6時間00分

紀州鉄道・西御坊駅から田辺市

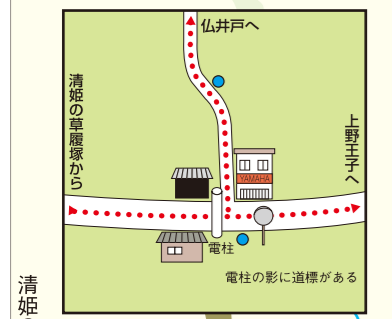
坊駅から日高川を渡り、海岸に沿って一気に南下します。までの古道は、明るい紀州の海に沿って進みます。

熊野詣の人に食事を提供する風習があった御坊市最南端の楠井地区を通り、古道は印南町へと入ります。津井、斑鳩と王子をたどると、五鉢王子のひとつにあげられる切目王子に到着。うっそうとした社叢を眺めていると、熊野参詣華やかなりし頃が思い浮かばれることでしょう。

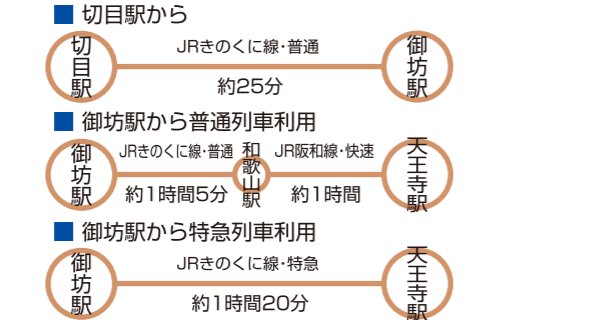
※歩行速度により所要時間は異なります。目安として参考にして下さい。(標準歩行時間は、健脚の成人男性が歩いた際の時間です。)



- 凡例**
- 王子
 - トイレ
 - 公衆電話
 - 自販機
 - 休憩所
 - 道標
 - コンビニ・食料品店
 - 見晴らしポイント
 - 土産品販売所
 - バス停
 - スタンプ



お帰りは
「切目駅」でゴールし、ほぼ1時間に1本運転している普通列車で「御坊駅」へ。
「御坊駅」からはJRきのくに線で「和歌山駅」に戻る方法と、天王寺・新大阪方面へ直通の特急列車を利用する方法があります。



ひとくちメモ
このコースは国道42号に寄り添うように南下します。国道沿いやゴールの切目駅周辺には、新鮮な魚介類や海産物を扱うお店もあります。コース途中の御坊市南部から印南町にかけては、花卉類の温室栽培が非常に盛んなところ。名田地区周辺には、観光花園も点在しています。
お問い合わせ: 御坊市観光協会 TEL.0738-23-5531

標準の歩行記録(参考行程:見学時間等を含む)

JR御坊駅から	→→→→→ 紀州鉄道西御坊駅 天田橋 塩屋王子
		9:55	10:10	10:35 10:45 (途中光専寺で名木を見学)
..... 祓井戸観音寺 清姫草履塚 仏井戸 上野王子 清姫腰掛石
11:15	11:50	12:05	12:10	12:55 13:00 13:10 13:15 13:21 13:25
(海を見ながら昼食:お弁当)				
..... 津井王子 斑鳩王子 切目王子 切目駅	
14:15 14:25	15:00 15:10	15:25 15:35	15:55	
(長い距離を歩いたので小休止) (雄大な紀伊水道の眺めを堪能) (五鉢王子をゆっくり見学)				

沿道の花ごよみ
日高川河口
ハマボウ...見頃 6月下旬～8月上旬
御坊市名田地区観光農園
スターチス・スイトピー
...見頃 1月中旬～5月下旬
光専寺
ビャクシン(イブキ)...樹齢600年(新日本名木百選)
花の見頃は年により異なる場合があります。

街道マップ「紀伊路 西御坊駅～切目駅 その2」

切目駅～南部駅(P12)

【切目駅(印南町)～南部駅(みなべ町)】

歩行距離 12.3km
標準歩行時間 3時間20分
標準所要時間 5時間05分

印南町切目から榎木峠を越え、岩代浜・千里の浜等の景勝地を通して、日本一の梅の里みなべまで。千里の浜は熊野古道随一の景観といわれ、アカウミガメの産卵地としても有名です。

切目駅裏手の急坂を登り、切目中山王子から榎木峠を越えると、古道は海に見える丘陵地を進みます。岩代王子を過ぎたあたりから周囲には梅林が広がり、梅林を抜けるとかつて熊野古道随一といわれた千里の浜が昔の姿のまま美しく広がります。春先には梅の香が漂う気分最高のコースです。

※歩行速度により所要時間は異なります。目安として参考にして下さい。(標準歩行時間は、健脚の成人男性が歩いた際の時間です。)



ひとくちメモ
各所に梅林が見られるこのコース。途中の「紀州梅千館」では、梅干し工場見学や、おみやげ用の梅干しをお買い求めいただくことができます。
お問い合わせ:みなべ観光協会 TEL.0739-74-8787

スタート地点までのアクセス

JRきのくに線で「切目駅」へ。途中「御坊駅」までは普通列車利用と、特急列車利用の二通りの方法があります。特急利用の場合は、「御坊駅」で普通列車に乗り継ぎ、「切目駅」下車。

- 大阪方面から普通列車で御坊駅へ
 - 天王寺駅 → JR阪和線・快速 和歌山駅 → JRきのくに線・普通 御坊駅 (約1時間)
 - 天王寺駅 → JRきのくに線・普通 御坊駅 (約1時間5分)
- 大阪方面から特急列車で御坊駅へ
 - 天王寺駅 → JRきのくに線・特急 御坊駅 (約1時間20分)
- 御坊駅から
 - 御坊駅 → JRきのくに線・普通 切目駅 (約25分)

お帰りは

「南部駅」でゴールし、ほぼ1時間に1本運転している普通列車で、「御坊駅」、「和歌山駅」と2回乗り継いで戻る方法と、「南部駅」から天王寺・新大阪方面へ直通の特急列車を利用する方法とがあります。

- 南部駅から普通列車利用
 - 南部駅 → JRきのくに線・普通 御坊駅 → JRきのくに線・普通 和歌山駅 → JR阪和線・快速 天王寺駅 (約1時間)
- 南部駅から特急列車利用
 - 南部駅 → JRきのくに線・特急 天王寺駅 (約1時間50分)

標準の歩行記録(参考行程:見学時間等を含む)

切目駅	切目中山王子	徳本上人名号碑	結び松の記念碑	岩代王子	千里王子	南部峠の石仏	紀州梅千館	三鍋王子	南部駅
9:45	10:05	10:15	10:50	10:55	11:15	11:20	11:30	12:10	
(海を見ながら小休止) (梅干し工場見学とお買い物)									

沿道の花ごよみ

沿道各所
梅...見頃 2月上旬～2月下旬
花の見頃は年により異なる場合があります。

街道マップ「紀伊路切目駅～南部駅」
南部駅～紀伊田辺駅(P14)

【南部駅(みなべ町)～紀伊田辺駅(田辺市)】

歩行距離 9.7km(天神崎経由12.5km)
標準歩行時間 2時間40分(天神崎経由3時間20分)
標準所要時間 4時間00分(天神崎経由5時間10分)

梅の里みなべから海沿いに南下し、古道の要所として賑わった田辺へ向かいます。古道はここで中辺路と大辺路に分かれ、熊野三山をめざします。

このコースは、南部の名の由来であるといわれる鹿島や牛の鼻過ぎの天神崎などの自然が残る風景を眺めながら進みます。出立の浜は、かつて熊野御幸の一行がここで海水に身を浸す潮垢離をすませ、いよいよ山また山の道、中辺路へと向かったポイントです。また商店街の中には、大辺路起点の道標も残っています。

※歩行速度により所要時間は異なります。目安として参考にして下さい。(標準歩行時間は、健脚の成人男性が歩いた際の時間です。)

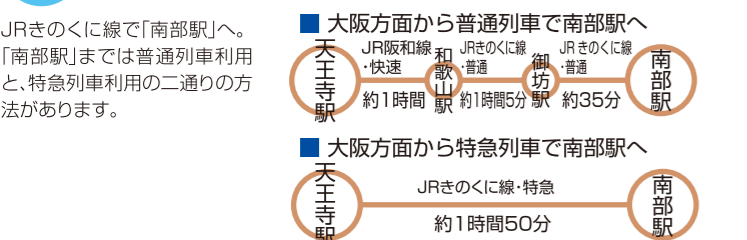


ひとくちメモ

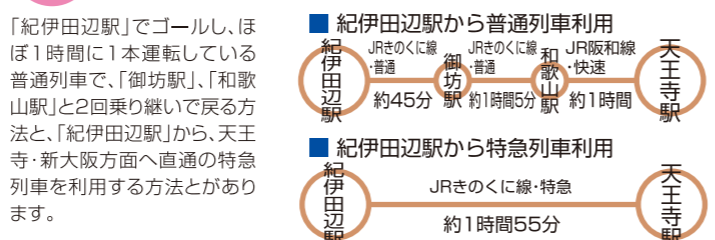
田辺市福路町は別名かまぼ通りと呼ばれ、老舗のかまぼ屋さん軒を並べています。田辺土産に名物の「なんば焼き」をはじめとしたかまぼこ製品はいかがでしょうか。紀伊田辺駅周辺には「味光路」と呼ばれる和歌山県唯一の飲食店街があります。ウォーキングのあとで、新鮮な食材をサカナに、ちょっと一杯立ち寄ってみませんか。お問い合わせ：田辺観光協会 TEL.0739-26-9929

- ### 凡例
- 王子
 - トイレ
 - 公衆電話
 - 自販機
 - 休憩所
 - スタンプ
 - コンビニ
 - 見晴らしポイント
 - 朝日・夕陽100選
 - 土産品販売所
 - バス停
 - 案内所

スタート地点までのアクセス



お帰りは



標準の歩行記録(参考行程:見学時間等を含む。天神崎経由)

南部駅	鹿島神社	芳養王子	牛の鼻
9:30	9:45	9:55	11:25
			11:30
	目良漁港	天神崎	潮垢離浜の記念碑
	11:55	12:10	12:50
	(天神崎経由で散策しました)	(雄大な自然を眺めながら昼食休憩:お弁当)	13:20
13:33	13:40	13:55	14:15
出立王子	道分け石	紀伊田辺駅	14:25
			(熊補の墓も見学)

天神崎経由のルート

